科目ナンバリング U-LAS20 10001 SB48													
授業科目			リーディング ER26 1S1 sh Reading			担当者所属 職名・氏名			非常勤講師 西本 希呼				
群	外国語	科目群		分野(分類)						使用言語	言語 日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ		授業开	業形態演習		(外国語)(対面授業科目)		面授業科目)	
開講年度・ 開講期	2024・後期 曜時限:			2	配当	配当学年 1回		Ξ.	対象学生		全学向		
[技能領域]													

アカデミックリーディング

[授業の概要・目的]

大学生活と学術英語に慣れはじめた後期の授業では、科学記事やニュースを日英両方で日常的にた しなむ習慣を身につけます。この授業では英語購読を通じて科学の楽しさや科学の社会へのあり方 を考えます。英語を通じて主に理学部に関連する語彙や表現力を培い、同時に、人類の誕生、確率 |論、宇宙の誕生、ビッグバン、地震の発生メカニズムに関する、古代の人の考え方(神話)から現 代の都市伝説など文理融合の様々な視点を読み解きます。高校までの詰め込み英語学習から一旦離 |れ、英語で書かれた学術記事を通じて、科学の楽しさを体感し、学術英語技能と科学のセンスを研 ぎ澄ますことです。

[到達目標]

この授業では、(1)英語で書かれた学術記事の購読を通じて、学術英語を使いこなす技術を習得する こと、(2)日常生活の小さな疑問や出来事を、異なる価値観や様々な学術領域から考察する能力を培 うこと、(3)日本語と英語の両方で自分の伝えたいことを他者にわかりやすく伝える能力(プレ ゼンテーション能力)を養うことの3点を主な目標とします。授業を通じて、学術の器と人間の器 の両面を広くするために切磋琢磨していきます。

[授業計画と内容]

生命の誕生や、虹の仕組み、虹にまつわる世界各地の神話、宇宙の誕生、ビッグバンセオリー、確 率論、心理学や認知科学的考察、地震の原理と地震に関連する世界各地の伝説、科学と超自然現象、 |奇跡はどう起こるのか、偶然とは何か?といった話題を、科学的視点で具体例を入れてわかりやす く書かれた解説書です。アフリカや南米などの色んな地域の民族がかつて自然現象を見てどう考え たか、人間の観察眼についても考察できる書籍です。英語は一般向けに書かれた非常にわかりやす い文章です。

|教科書を通じて、日常生活の小さな疑問や喜怒哀楽が科学や芸術へとどう結びついているかサイエ ンスの世界を楽しく読み解き、議論していく授業です。

|双方向コミュニケーションを重視する授業です。ただ読んで訳すだけではなく、考え発言し、内容 について議論(授業中の議論は日本語でも可)できるよう、日常生活の何気ない光景にアンテナを はっていてください。

- (1) 著者リチャード・ドーキンスについて、授業オリエンテーション、授業の進め方、大学で学 ぶ英語と高校までの英語の違い、大学で学ぶ教養科目とは?教科書の冒頭数ページ
- (2) What is reality? What is magic? 科学と超自然現象、説明のつくものとつかないもの、進化の スローマジック
- (3) Who was the first person?

最初の人間は誰?タイムマシンに乗って、DNAが語ること

(4) What are things made of?

英語リーディング ER26(2)へ続く

英語リーディング ER26(2)

(5) Why do we have night and day, winter and summer?

昼夜への太陽、夏冬への対応、天体について、重力からの脱出

(6) What is sun?

太陽や月に関する神話、星の仕組み、星の生涯、生命の光

(7) What is a rainbow?

虹に関する様々な民族の観察眼、虹の仕組み、光の仕組み、波長について

(8) When and how did everything begin?

全てはいつ始まったのか?アフリカの神話、光のスペクトル、銀河、ビッグバン

(9) Are we alone?

孤独とは何か、悪魔、妖精、精霊、記憶について科学する、金縛り、惑星の声明について

(1 0) What is earthquake?

地震の仕組み、地震に関する神話、大地は動く、世界地図を遡って観察する

(11) Why do bad things happen?

善悪とは何か?悪いことはなぜ起こるのか?失敗する可能性があることは失敗する、確率論、運、 ポリアンナとパラノイア、医学の進化、新たなウイルスとの戦い

(1 2) What is miracle?

奇跡とは何か?噂、偶然、話の尾びれ、今日の奇跡、明日の技術、未来に向けて科学者ができることは何か?

授業の後半では好きな箇所を選んで英語で短い口頭発表をしてもらいます。

本の全てを半期で読み終えることは難しいので、授業で読む場所や読みたい箇所を受講生と相談します。最初の数回は、教科書の初めの章から読みます。

*日本語訳を持参したり参照しても問題ありません。

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

5回以上欠席した場合は成績評価の対象としない.

平常点60%、期末レポート試験40%

時々英語の単語テストを実施します。

授業中の自由で積極的な発言と、自ら主体的に調べて学ぶ姿勢を評価します。学術英語技術を習得する授業なので、必要に応じて、より適切な英語の発音やアクセント、イントネーション、表現に 授業内では誘導していきますが、成績評価では、英語の発音の正確さや流暢な英語力だけではなく、 むしろ予習、復習そして積極性や主体性を重視します。

インターネットでの情報検索は上手に使い、検索して得る情報と、自分の中に吸収して自身の血や 肉となる知識や技術とは分けて考えましょう。

[教科書]

Richard Dawkins 『The Magic of Reality: How We Know What's Really True 』(Free Press; Reprint版, 2012)ISBN:978-1451675047(キンドル版、ペーパーブック、オーディオ等あります)

> ______ 英語リーディング ER26(3)へ続く

英語リーディング ER26(3)

[参考書等]

(参考書)

リチャード・ドーキンス 『ドーキンス博士が教える「世界の秘密」』(早川書房,2012)ISBN:978-4152093462(英語で読む本の日本語版です。大型版)

- *キンドル版、ペーパーブック等どの媒体の教科書を購入しても構いません。
- * 音声(オーディオブック)も入手可能です。
- |*日本語版は大判ですが絵、写真、図が多くとてもわかりやすいです。自分のプレゼンテーション の時、日本語版を参照して構いません。

[授業外学修(予習・復習)等]

授業の予習として、わからない英単語や用語は事前に調べておいてください。授業では双方向コミュニケーションを重視していますので、積極的に発言しましょう。

予習や復習は原則ですが、予習ができなかった週でも、技能の授業は出席して得るものがあります。前週前夜体調不良等で予習ができなかった日は、授業時間に集中して積極参加し、知的な刺激を得て帰るようにしましょう。

和文でも英文でもどちらでも良いので、週に1回何か科学記事に目を向けてください。数行でも 数分でも構いません。

「英語が苦手」「英語の発音は得意ではない」「英語はあまり喋れない」「リスニングは苦手」 と思っていても、問題ありません。学術英語は訓練すれば誰でも身につけることのできる技術です。

[その他(オフィスアワー等)]

大学生活、英語学習、第2言語習得や留学、その他個別に配慮してほしい点など相談したい案件が あれば、毎回配布する出席コメントシートに記入してください。